

2025年4月19日

2024年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 社会福祉法人 青梅なかまの会

代表者・役職名 氏名 理事長 佐藤 友之

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクトの名称

こどもの食育応援事業 高校生以下無料弁当 「なっちゃん弁当」、フリースペース事業

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

「地域で共に暮らす」という視点で、知的障害のある仲間のレクリエーション活動を行う任意団体「青少年クラブなかま」を支援し、障害のある人の働く場づくりを目的にかけ、1995年にボランティアによる配食サービス活動を開始しました。青梅市初の民間授産施設として、2003年に法人認可を取得。翌2004年知的障害者通所授産施設「なかま亭」開設。定員36名、現在に至ります。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

学校がない土曜日に朝食を提供する取り組みとして、2018年より中学生以下無料の朝食バイキングを実施していました。2020年コロナ禍により、2月末でバイキングは中止。6月より、お弁当提供の形でリニューアルしました。朝食・昼食をカバーできるよう、10:30~13:00に時間帯を変更、対象を高校生以下に拡大。障害のあるメンバーがこども弁当の調理や居場所見守りにかかわることで、ともに地域で暮らす一員として、食を本業とする福祉施設としての役割を果たしたいと考えています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

毎週土曜日に、高校生以下を対象に無料弁当を提供し、フリースペースを開催します。
障害のあるメンバーが、お弁当調理補助やフリースペースでの見守りを行うことで、事業を通じてこどもの食支援と交流を図ります。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

結果: 実施回数49回、提供数8,063食(平均165食)、昨年度の1.3倍 昨年度6,049食(平均121食)

成果: より多くのこどもたちに無料弁当と、落ち着いて食事する空間を提供できました。地域の社会資源としてのなかま亭の存在を地域住民に知ってもらう機会となっています。

効果: こどもとメンバーが交流する場面を日常の中で作り出せています。地域で暮らすこどもの日常になかま亭の存在があり、土曜日だけでなく平日のこどもの見守りにも寄与できていると感じています。保護者や買い物客を含めると、土曜日には250名~300名の来客があり、メンバーにとって働くやりがいが生まれています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

多い日には200名を超えるこどもが来るため、スタッフ体制の強化が必要となっています。
物価高騰や食の安全性が危惧される状況の中、「食べておいしい、からだに優しいお弁当」を提供し続けられるように、食材や調理過程にもこわだって提供できるように財源を確保していきたいと考えています。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、必ず、別途、ご提供ください。

